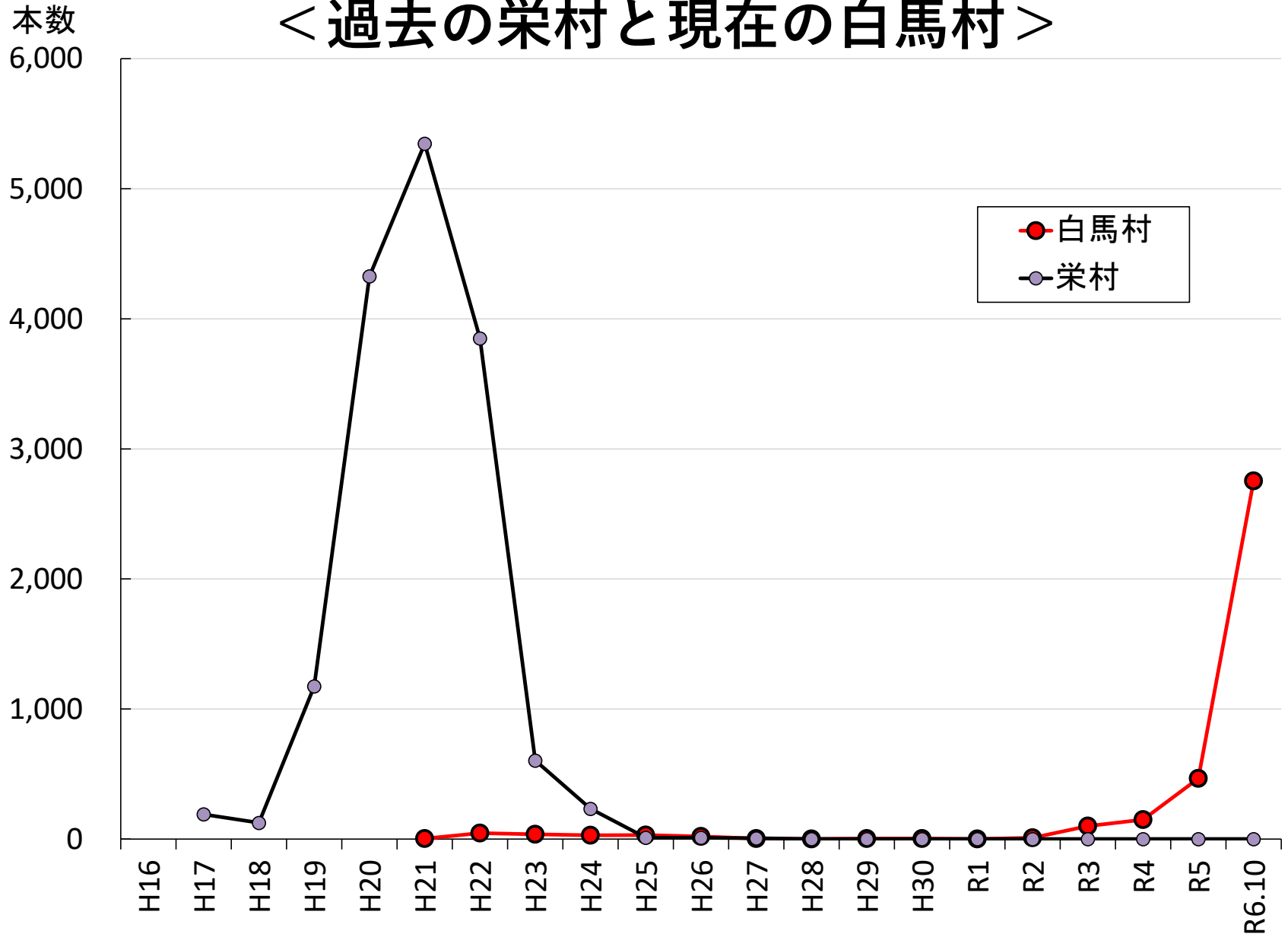


ナラ枯れ被害本数の推移 ＜過去の栄村と現在の白馬村＞



栄村の被害経過はどうだったのか

本数

H 20



3,000
H 24



H 27



R 7



15年前に多かった被害

0

H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6.10 R7.8

15年後、栄村の被害跡地はどうなった??



被害は見当たらず
に更新



枯死木は倒伏

健全な森林の生育状態判断方法（平成27年3月林務部）

【2年後】陽樹が10000本/ha以上
or萌芽株が1500本/ha以上
or陰樹が5000/ha以上

【5年後】陽樹が3000本/ha以上
or萌芽株が1500本/ha以上
or陰樹が3000/ha以上

※いずれも不足分は補植

ナラ枯れ被害本数の予測

被害本数（概念）

= ナラ類の大径木本数 -

どれだけ多いか

- ・過去の被害本数
- ・予防本数
- ・穿入生存木本数
- ・未穿入木本数

如何に減らすか

白馬村は、

- ・ミズナラ大径木が多い + 過去の被害本数が少ない
- ・一方で標高が高く、比較的寒冷

今後さらに被害拡大の可能性はあるが、いづれ終息し、苗・稚樹や萌芽が育って更新する

標高1000m

